

中央公園(五竜の滝)

1. 目指すべき景観像

五竜の滝の感動と歴史・自然を満喫し、
また来たくなる中央公園



○見て感動する五竜の滝



○滝までのワクワク感と四季の変化を楽しむ公園

○歴史・文化の伝承と体感のできる公園

中央公園は、「見て感動する五竜の滝」、「滝までのワクワク感と四季の変化を楽しむ公園」及び「歴史・文化の伝承と体感のできる公園」の3つの側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

① 見て感動する五竜の滝

(1) 自然



勇壮な滝の姿は「公園の象徴」

五竜の滝は、県指定天然記念物に指定されており、黄瀬川の3条を雄滝、大柄沢の2条を雌滝と呼び、それぞれ雪解、富士見、月見、銚子、狭衣（さごろも）といった名がついています。
幅約10m、高さ約13mから流れ落ちる5条の滝は勇壮で、訪れた人々に感動をもたらします。
こうした5条の滝の景観を損なわないよう滝のまわりの木々を管理・保全していくことや視点場の整備が必要です。



〈景観形成の主な課題〉

・滝に溜まるごみの処理

・滝周辺の樹木の繁茂

② 滝までのワクワク感と四季の変化を楽しむ公園

(1) 自然



四季の変化を感じられる樹木、その先に広がる勇壮な滝

中央公園は入ってすぐ滝を眺めることはできず、四季折々の変化に富む樹木のアプローチをぬけた先に滝の景観が広がります。
こうした園内の散策路を楽しみ、滝へのワクワク感を演出することができるよう、公園の適切な管理を継続していくことが必要です。

(2) 観光



各イベントには多くの来園者が押し寄せる、一大観光地へ

春の五竜みどりまつりには約8千人、夏の竹灯り七夕まつりには約4千人が詰めかけ、公園一帯は、大勢の来園者で賑わいを見せます。

また、こどもの日には滝壺の上にずらりと鯉のぼりが吊るされ、橋から眺める様は、まさに鯉の滝のぼりのようです。

こうした多くの来園者に対応した駐車場・駐輪場の整備やバリアフリー化が必要です。

また、初めて訪れる人にも分かりやすい案内サインを設置することも必要です。

(3) 地域住民の日常利用



地域住民に愛される憩いの場

豊かな自然に恵まれた園内では、滝までの散策路でウォーキングする方や、バードウォッチングを楽しむ方、遊具エリアで遊ぶ親子連れなど幅広い層の地域住民に利用されています。

こうした方々が、より一層のんびり楽しめる癒しの空間とするために、誰もが安心して散策できる歩道や休憩場所の整備を行うことが必要です。

(4) 市民活動を支援する行政（市民協働）



市民主体の活動の継続、さらなる発展

市民主体による清掃活動等が行われているものの、担い手の減少が課題となっています。

今後も継続していくことができるよう、こうした活動を行政が支援していくことが必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・来園者用の駐車場の不足
- ・園内をゆっくり眺められる休憩場所の不足
- ・サイン案内板の形状、デザインや色彩などが、不揃いで統一されていない。また、老朽化しているものがある。
- ・トイレの老朽化、吊り橋と夢の橋の老朽化

③ 歴史・文化の伝承と体感のできる公園

(1) 歴史的背景



旧植松家住宅、五竜館跡地の活用

旧植松家住宅は江戸時代の中期に建てられた農家を移築したもので、国指定重要文化財に指定されています。静岡県東部に残るもののうちでは最も古く、寄棟造りの茅葺屋根が特徴です。

また、五竜館（佐野瀑園佐野ホテル）は明治時代から戦後まで営業した西洋ホテルで、皇太子時代の大正天皇・昭和天皇も訪れたことがあります。

こうした江戸、明治、大正、昭和の遺産が残る場所において、音楽会やワークショップなど歴史的建造物を活用する機会の場づくりを進めることで、更に楽しみ方が広がります。



(2) この地を詠んだ歌碑



富士山などの自然景観を愛でる歌碑

大正から昭和の初めにかけて、若山牧水は裾野に関する歌を数多く残しました。

歌碑は 市民文化センターや景ヶ島公園などにもあり、富士の自然景観を愛でる情景が描かれています。

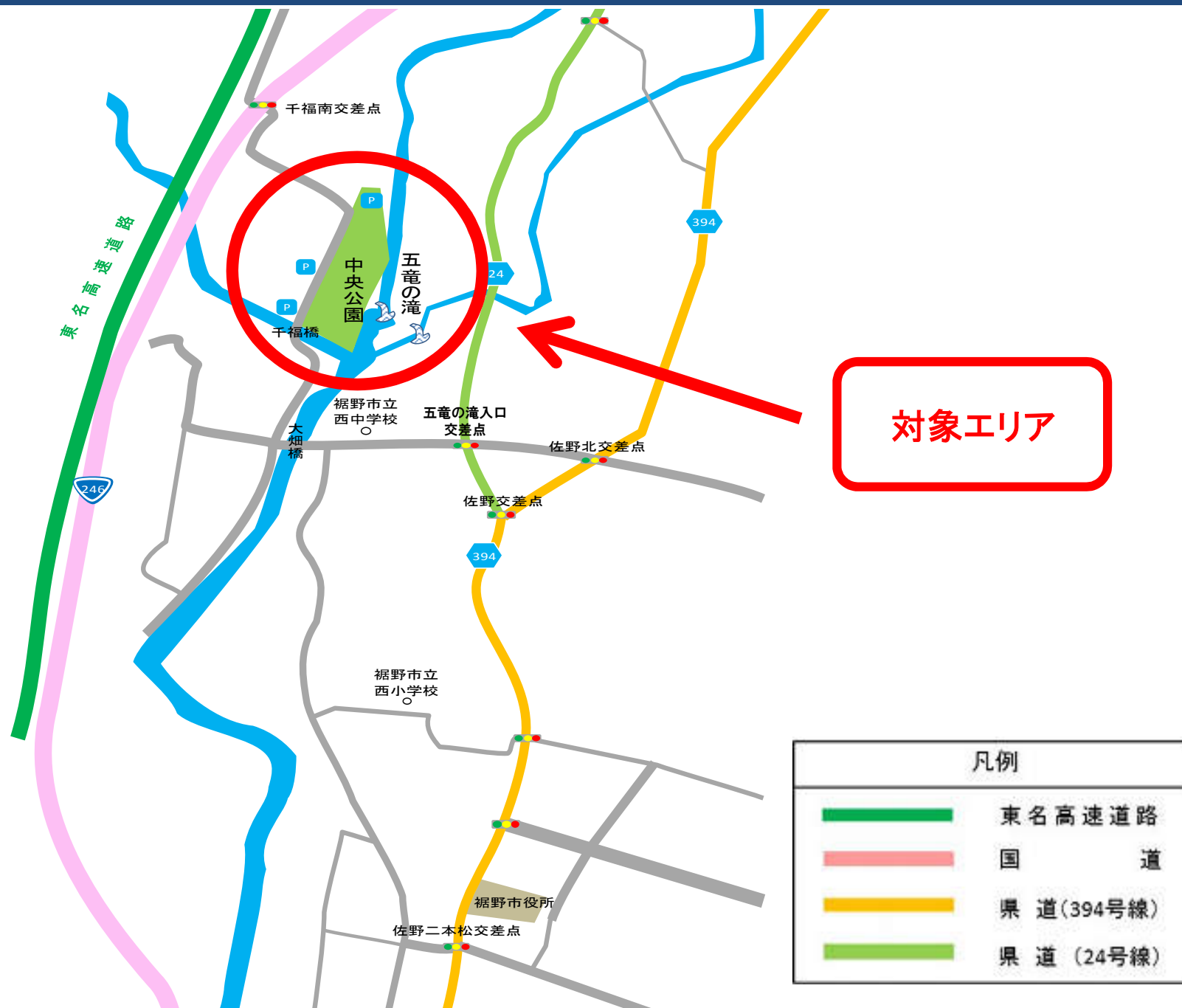
こうした歴史ある美しい景観を伝承していく必要があります。

『富士が嶺や すそのに來たり 仰ぐとき いよ親しき 山にぞありける』（若山牧水）

〈景観形成の主な課題〉

- ・五竜館跡地が周知されていない
- ・旧植松家住宅の利活用が十分にされていない

3. 対象エリア



地域特性や景観づくりの方向性から、景観目標と景観づくり方針を整理します。

五竜の滝の感動と歴史・自然を満喫し、 また来たくなる中央公園

目標 1

見て感動する五竜の滝の
景観づくり



景観づくり方針

- ①五竜の滝を背景に写真撮影したくなる場づくり
- ②滝を見ながら座って休憩できる憩いの場づくり

目標 2

滝までのワクワク感と四季
の変化を楽しむ景観づくり



景観づくり方針

- ①地域住民と観光客の利用の調和が図られた場づくり
- ②多くの来園者を受け入れられる環境づくり

目標 3

歴史・文化の伝承と体感の
できる景観づくり



景観づくり方針

- ①美しい眺望をより印象的に見せる環境づくり
- ②歴史的建造物の利活用が図られる環境づくり

対象エリアへの入口・アクセス部における景観形成

目標1 見て感動する五竜の滝の景観づくり

方針1-① 五竜の滝を背景に写真撮影したくなる場づくり

	取組み	実施主体
短期	● 滝の景観を損ねる樹木の手入れ ● 滝のごみ拾い	● 市 ● 市、市民
中・長期	● 五竜の姿が美しく眺められる新たな視点場の設置（滝壺周辺、滝の上） ● 増水時の対応マニュアルの整備 → 観光協会が常駐しているメリットを活かす	● 市 ● 市、観光協会

方針1-② 滝を見ながら座って休憩できる憩いの場づくり

	取組み	実施主体
短期	● 美しい滝を眺めながらお茶を飲めるベンチの設置	● 市
中・長期	● 長時間滞在できる環境づくり（店舗、トイレ整備等） ● 親水場所の整備	● 市、民間事業者 ● 市

目標2 滝までのワクワク感と四季の変化を楽しむ景観づくり

方針2-① 地域住民と観光客の利用の調和が図られた場づくり

	取組み	実施主体
短期	● 日が当たるように園内樹木の手入れ ● 注意喚起看板を必要最低限に整理 ● ワクワクを邪魔しない案内看板の位置を検討	● 市 ● 市 ● 市
中・長期	● 景観に配慮した安全柵の改修 ● 景観に配慮した橋の色彩の検討 ● 家族連れで楽しめる遊具・広場等の整備	● 市 ● 市 ● 市

方針2-② 多くの来園者を受け入れられる環境づくり

	取組み	実施主体
短期	● ベンチ等休憩場所の整備	● 市
中・長期	● 駐車場整備 ● サイクリストに配慮した駐輪場整備 ● 駐車場から園までの歩道整備（バリアフリー化） ● 橋梁の長寿命化 ● 園に至る道路（市道1-5号線）の歩道整備	● 市 ● 市 ● 市 ● 市 ● 市

目標3 歴史・文化の伝承と体感のできる景観づくり

▶ 方針3-① 美しい眺望をより印象的に見せる環境づくり

	取組み	実施主体
短期	●パンフレットの作成 ●市ホームページのアクセシビリティの向上、情報の拡充	●市 ●市
中・長期	●観光協会やガイド協会によるボランティアガイドの活用 ●市民によるボランティアガイドの養成 ●市民文化センター、景ヶ島公園など牧水の碑めぐりコースの設定	●市、市民 ●市、市民 ●市、市民

▶ 方針3-② 歴史的建造物の利活用が図られる環境づくり

	取組み	実施主体
短期	●旧植松家住宅の更なる利活用	●市、市民
中・長期	●五竜館の歴史説明と面影を偲ぶ案内の掲示 ●プロジェクションマッピング等により五竜館の当時の姿・歴史を演出	●市、市民 ●市、市民

対象エリアの入口・アクセス部における景観形成

当該エリアの入口、あるいはアクセス道路となる箇所（区間）で実施する景観形成を以下に示します。

	取組み	実施主体
短・中期	● 景観を阻害する屋外広告物への対応 （国道246号千福南交差点から県道24号富士裾野線五竜の滝入口交差点）	● 市
中・長期	● 国道246号千福南交差点の名称変更	● 国、市

6. 景観施策(案)のイメージ図

